

平成23 年度（ 22 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 23 年 5 月 10 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 620501	女性消防団防火啓発事業				主管課名	防災安全課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	天野 達也				
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち				主管係名	消防防災係				
		基本事業	消防の充実									
	(1)事業の概要											
	市内から火災を防止するため、女性消防団員による一般家庭を訪問、防火啓発資材を配布し、住民の防火意識の向上を図る。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						女性消防団員数		人				
						その指標						
	(22年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		女性消防団による防火訪問を実施し、防火意識の啓発を図った。									
23年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
市民					名 称		単 位					
					人口		人					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
防火意識の高揚を図る。					名 称		単 位					
					防火訪問世帯数		世帯					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
市内での建物火災の発生件数を抑止する。					名 称		単 位					
					消防団員実数		人					
					火災発生件数		件					
					消防水利設置数		ヶ所					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
(5)の活動指標		人	45	44	45	45	45	45				
(6)の対象指標		人	57,864	58,216	59,800	60,600	61,400	62,500				
(7)の成果指標		世帯	415	419	400	400	400	400				
(8)の結果の成果指標		人	326	331	360	360	360	360				
		件	25	29	20	20	20	20				
		ヶ所	741	753	753	753	753	753				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	01
(11)コスト		年度	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	203	187	132	132	132	132				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	78	79	0	0	0	0				
	一般財源	千円	125	108	132	132	132	132				
人件費B		千円	400	369	369	369	369	0				
正職員従事時間×人数		時間×人	50×2	50×2	50×2	50×2	50×2	×				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	603	556	501	501	501	132				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620501	女性消防団防火啓発事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成3年 から			
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
消防庁から火災予防の一環として女性消防団の設立の働きかけがあった。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない			変化した内容	
変化している			女性消防団員の確保が難しくなってきた。	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定事務ですか、それとも、自治(任意)事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定事務	→	根拠法令	法定事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治(任意)事務	→	根拠法令	なし	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
	結びつかない	→				
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→			
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容	災害時要援護者への防火啓発が疎かになる。	
		多少影響がある	→			
影響はない		→				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	女性消防団員数に限りがあるため。			
できない	→					
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？						
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業名	ある → 内容		
	ない	→			類似事業との再編の可能性	ない
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	啓発品を減らす。		
	ない	→				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	内容			
	ない	→				
		現状で適正				
		検討が必要				
		受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等 の見直しなど						